

衛星データ解析技術研究会

— 研究会設立講演会 —

平成29年

日時

2月23日 木 [13:30~16:20]

場所

山口県産業技術センター

2階 多目的ホール〔宇部市あすとぴあ四丁目1番1号〕

国研)宇宙航空研究開発機構(JAXA)の「西日本衛星防災利用研究センター」が産業技術センターに開設されます。それに伴い山口大学との連携による衛星リモートセンシング技術の各種分野への活用による「地域産業の活性化」が期待されます。これを進めていくためには、山口大学や県内企業が連携し衛星データを活用した新たな商品開発やサービスの創出に取り組むことが必要です。そのため、山口県産業技術センターが主体となって、衛星リモートセンシングデータを防災をはじめ、農林、水産、環境等の分野に応用する技術開発に向けた産学公連携の研究会を設立します。※研究会については裏面をご覧ください。

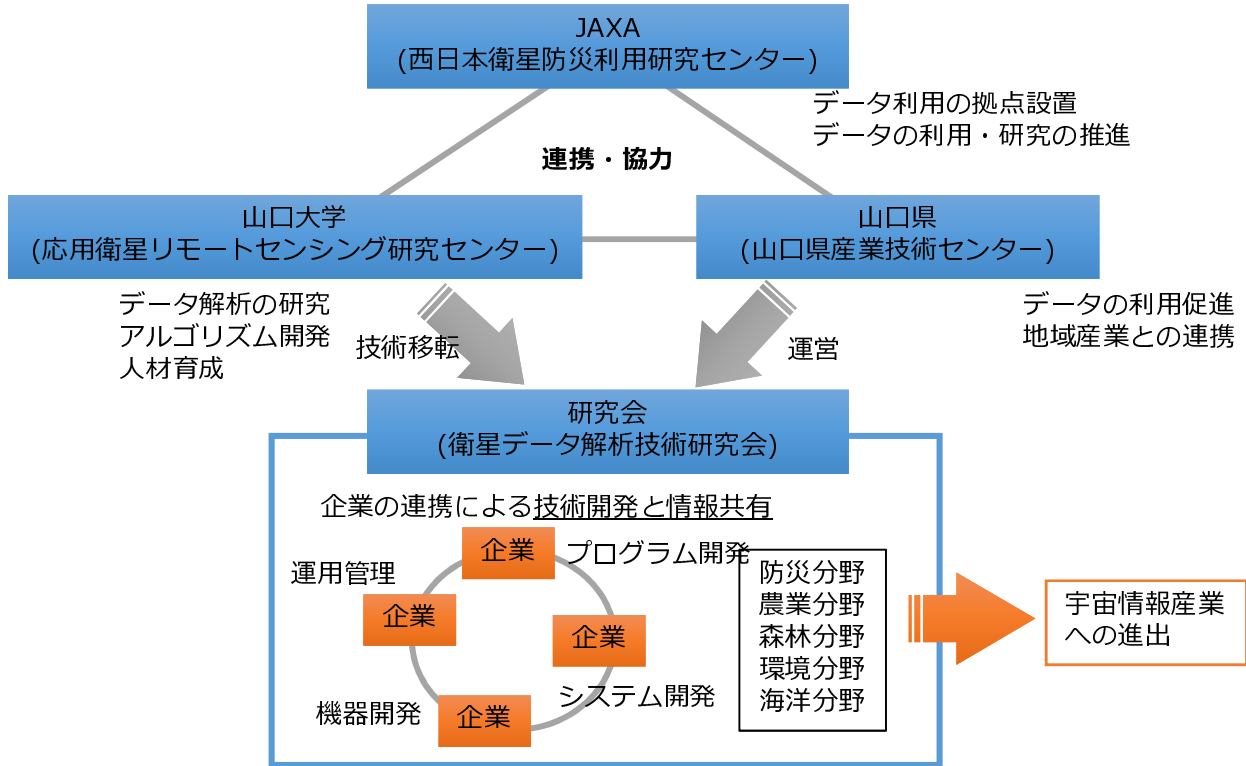
プログラム

13:30~13:35	◆主催者あいさつ◆ 地独)山口県産業技術センター 理事長 木村悦博
13:35~13:45	◆研究会設立と活動内容について◆ 地独)山口県産業技術センター 職員
13:45~14:45	◆応用衛星リモートセンシング研究センターについて◆ 山口大学では応用衛星リモートセンシング研究センターを設立して、技術の最も得意な空間情報に、時間情報を導入・統合することによって新しい衛星リモートセンシング技術を構築・展開しています。講演ではセンターで行われている研究を中心に、今後の計画についても解説して頂きます。 講師 山口大学 応用衛星リモートセンシング研究センター センター長 三浦房紀 氏
■■■■■■■■■■ 休憩 (15分) ■■■■■■■■■■	
【特別講演】 15:00~16:20	◆衛星による地球環境計測とその産業応用◆ 衛星「だいち」や「だいち2号」に搭載されている合成開口レーダ(SAR)は、電波を発射し、観測対象物からの反射信号を受信します。この受信データから得られた画像は天候に左右されず、夜間でも映像が撮れるといった特徴を有します。講演では合成開口レーダを用いた地球観測の現状とその産業応用の可能性について講演して頂きます。 講師 東京電機大学 理工学部 教授 島田政信 氏

参加無料 講演会にはどなたでもご参加いただけます。参加希望の方は裏面よりお申込みください。

研究会概要

研究会では「JAXA西日本衛星防災利用研究センター」、「山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター」と連携しながら、山口大学で開発した衛星データ応用要素技術の技術移転を進め、研究会に参加する企業が連携し事業化への課題の克服へ取り組みます。なお、研究会の活動は、参加される企業の意向も考慮し内容を検討します。研究会の参加については、講演会后募集します。



お申し込み

衛星データ解析技術研究会 研究会設立講演会

参加申込書

FAX 0836-53-5071

E-mail sangaku@iti-yamaguchi.or.jp

締め切り：2月16日（木）

企業名			
参加者	部 署 氏 名	部 署 氏 名	
参加者	部 署 氏 名	部 署 氏 名	
連絡先	部 署 電話番号	ご担当者名 メールアドレス	

◆事務局・お問い合わせ

〒755-0195 山口県宇部市あすとぴあ4-1-1

(地独) 山口県産業技術センター 企業支援部 産学公連携室

TEL : 0836-53-5052 FAX : 0836-53-5071

E-mail : sangaku@iti-yamaguchi.or.jp URL : <http://www.iti-yamaguchi.or.jp/>

※ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、セミナーのご案内など弊所関連の活動の範囲内でのみ利用します。